

## 令和元年 萩市議会 6月定例会

### 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	13	西 中 忍	6月24日午前
2	7	石 飛 孝 道	
3	12	関 伸 久	午後
4	1	浅 井 朗 太	
5	2	小 林 富	
6	3	瀧 口 治 昭	6月25日午前
7	5	村 谷 幸 治	
8	10	美 原 喜 大	午後
9	4	松 浦 誠	
10	8	佐々木 公 惠	
11	18	宮 内 欣 二	6月26日午前
12	6	五十嵐 仁 美	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 引きこもりに対する正しい理解を深めながら官民一体の支援が必要だ	<p>1. 先月、神奈川県で小学生を含む多くの人々を無差別に襲うという大変に痛ましい事件が、そして今月になって、東京都で父親が息子を殺害するという事件が発生しました。</p> <p>この2つの事件に共通するキーワードとして「引きこもり」ということを挙げ、引きこもりが事件発生要因の1つではないかというような報道が連日続いています。この事で引きこもりという行動が犯罪に繋がるという間違った認識が広がり、当事者が社会との繋がりを持つことがますます難しくなる可能性があることから、市民に対し引きこもりという行動について正しい認識を持ってもらう努力を行なわなければいけないと思います。</p> <p>またそれと同時に、引きこもっている本人やその家族は、日々大変な苦勞をしていることから、これまで何度も言っているように当事者が求める支援を今すぐに講じなければいけないのではないかと考えています。</p> <p>そこで、市として引きこもりという行動が自己防衛的なもので、犯罪に直結しないということを市民に対し広報等を行い、正しい認識を持ってもらえるような取り組みを行う考えがないかお尋ねします。</p> <p>さらに、これまでも提案していますが、市が中心となって民間と協力しながら、引きこもっている方々やその家族が安心して社会との繋がりが持てるように、新たな支援策を創設する考えがないかお尋ねします。</p>		
2. 幼児教育・保育の無償化で市の子育て環境はどう変わるのか	<p>1. 今年10月から、国が実施する幼児教育・保育の無償化がスタートしますが、その内容を簡単に言うと、3歳から5歳の子どもを対象に、幼児教育や保育に係る費用を無償にするというものです。</p> <p>しかし、市が子育て支援策の一環として実施している現在の施策では、同時入所の場合、年齢が下の子どもの保育料を無償にしていることから、例えば、3歳未満児を含む子供が同時入所している場合で国が行う無償化を実施すると、3歳以上の子どもの保育料が無償になることから、保</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>護者は料金が低い3歳未満の子どもの保育料を負担することになり、その負担は逆に大きくなるのではないかと考えます。</p> <p>さらに、国が無償化するのには、保育料だけで給食費は含まれていないと聞いていますが、現在、市内の保育料は給食費を含んでいることから、3歳以上の子どもにも、給食費の負担が残ることになり、さらに負担が大きくなるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、この制度が実施されるにあたり、市としてどのように対応していくかお尋ねします。</p>
<p>3. 市民ボランティアの本来の姿と行政との関係は</p>	<p>1. 市内では、多くの市民がボランティア活動を継続的に行っていますが、最大規模のボランティア活動といえるものが、毎年7月に実施されている河川海岸一斉清掃ではないかと思えます。</p> <p>この河川海岸一斉清掃以外でも、自宅周辺の市道沿線や公園等の草刈やゴミ拾い、観光地周辺の自主的な管理活動など、市民の善意に基づいた継続的な活動のおかげで、萩市の景観などが維持されるとともに、観光客へのおもてなしが出来ているといってもよいのではないかと考えます。</p> <p>しかし私は、ボランティア活動とは、管理者が平素より管理した上で、足りない部分を補うということが、本来の姿ではないかと考えていることから、現在の管理者とボランティア活動をしている市民との関係に疑問を感じています。</p> <p>そこで、市として日々、献身的に行われている市民のボランティア活動の現状についてどの程度把握し、本来管理する義務を負っている管理者とボランティア活動を行っている多くの市民との関係についてどのように考えているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、人口減少や高齢化が著しく進んでいる萩市の現状を踏まえ、市内最大規模のボランティア活動である河川海岸一斉清掃について、主催者としてどのような現状認識を持ち、今後どのように継続していこうと考えているかお尋ねします。</p>

質問順位	2	質問者	石飛孝道議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 安心・安全な通学路（生活道を含む）の整備について	1. 歩道と車道の区画線の引き直しについて （浜崎町～熊谷町～上五間町通り） 2. 横断歩道の引き直しについて		
2. 期日前投票の期間の延長について	1. 越ヶ浜地区、期日前投票所の期間の延長について		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 旧明倫小学校の3号棟、4号棟の保存整備にあたっては篤志家の寄附に頼ることなく国の補助金を有効に活用すべき	<p>1. 先の3月定例会における市長報告で旧明倫小学校3号棟、4号棟の保存活用の方向性が示された。3号棟は建物を自用活用し、4号棟は保存に必要な修繕をして民間投資、提案を待つとの方針である。</p> <p>いずれにせよ3号棟、4号棟の保存活用に際しては、市が財源を負担し、その財源には主に篤志家の寄附、補助金等、クラウドファンディングをはじめとした寄附を充てるという。</p> <p>かつて3号棟、4号棟を保存整備するとした前市長時代の事業計画では多額の国の補助金を活用し、合併特例債を有効に活用することが前提であったが、今回もそれは可能なのか。財源構成を中心に、4号棟の想定される活用案について市長の考えを訊く。</p>		
2. 木間地区でドクターヘリのヘリポートが整備されない理由は何か	<p>1. 木間地区でドクターヘリの離発着を可能とするヘリポートの整備を望む声が強い。木間地区は市内中心部からほど遠く、道路網も脆弱かつ狭わいであり、市内へのアクセスに難がある。加えて萩市内でも突出して高齢化が進む地域である。緊急医療体制の整備が他地域よりも優先して求められる地区であることから、早期の整備が望まれている。このことについては、これまで地元住民から要望が出ているが実現できないのはなぜか。整備にあたり障害があるのであれば、それを地元住民とも共有し、解決にあたりたいがどうか。</p>		
3. 民泊事業者には周辺住民への説明と理解を得られるよう強く指導すべき	<p>1. 住宅宿泊事業法、いわゆる民泊法が2018年6月に施行された。国の法律に上乗せして条例を定めることで厳しい運用を行う自治体がある一方、萩市では国の法律のみで民泊事業を営むことができる。これに着目して大手ネット通販の運営グループが萩市に民泊施設を建築するケースがあり、その動きに動揺する周辺住民の声を聞いている。その声の主なものとしては、民泊はゲストハウスと異なり管理人不在型の施設であり、不特定多数の利用者がモラルを欠</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>いた宿泊行動をとるのでないかとの声やゴミ出しが適正にできるかなど、全国の民泊先進地ですでに問題となっているものである。</p> <p>ここ萩市は観光地でもあり、民泊の必要性については大いに認めるところである。また空き家の有効活用などの観点から考えれば民泊は萩市の課題解消につながる可能性もあり、これを全面的に否定するものではない。</p> <p>については、萩市は俄かに注目を集めはじめた民泊についてどういう見解を示しているのか、お訊ねする。</p> <p>個人的には簡易宿泊所として建築確認申請されるようなケースにおいては、事業者に対し地元住民への説明と理解を得られるよう強く指導されるべきと考える。</p>

質問順位	4	質問者	浅井朗太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光客の動向の事前周知について	<p>1. 平成 30 年度の入込観光客数が発表されております。維新 150 周年ということなどもありましたが、前年度比 6 万 5 千人のマイナスという発表がされております。</p> <p>しかしながら、年間 130 万人以上もの観光客が、市外、県外また国外からも訪れて頂いているわけです。その入込観光客数の更なる増加や、関係人口、交流人口の増加は、萩市政にとっても萩市の産業にとっても重要なテーマであります。</p> <p>そこで、その観光客の増加を目指す中で、まずはここに来てくださっている観光客の満足度、おもてなしの充実を図る取り組みについてお尋ねします。</p> <p>主に、修学旅行生やクルーズ船など「短期間に大人数」で訪れる観光客の動向について、より一層の周知を図れないかお尋ねします。現在、観光課のみならず、観光協会に置かれましても修学旅行の予定を HP 上に告知して頂いたり、広報「はぎ」や FM 放送では、外国クルーズ船の寄港についての告知もされてはおります。</p> <p>観光客の増加の一助となるよう、主に、修学旅行や日帰りでの研修、クルーズ船寄港など短期間での大人数の観光客の動向、予定、見込について、広く詳細に周知することについて、関連業種、DMO、観光協会等、官民一体となって取り組まれるお考えがないかお尋ねします。</p>		
2. イージス・アショア配備計画の適地調査の結果説明に対する市の対応について	<p>1. 昨年 10 月より実施されたむつみ演習場へのイージス・アショア配備計画に係る適地調査の報告、説明会が、6 月 6 日、萩市議会向けにありました。それに先駆け、5 月 28 日には、山口県庁にて防衛副大臣から同様の報告が県知事、市長、阿武町長らにありました。</p> <p>副大臣からの説明を受け、6 月 3 日に、市長は防衛省へ直接赴き、防衛副大臣に、「地元の理解が得られないうちに、装備品購入の契約や配備にかかる工事を進めないように」と伝えられたと報道で聞き及んでいます。また、市として独自の検証をすると、発言をされております。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>そこで、萩市独自の検証を具体的にどのように行うのかお尋ねします。</p> <p>全体的な方針や検証項目などについてどのようにお考えかをお尋ねします。</p>



質問順位	5	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 行財政改革の方向性や目的について	<p>1. 萩市では昨年度より萩市行財政改革推進プロジェクトチーム、本年には萩市行財政改革推進本部が発足しました。業務の効率化や選択と集中により施策の重点化および効率化を図ると聞いております。</p> <p>(1) 前回議会でも取り上げました定員適正化計画が、現在未達である状況を踏まえて質問いたします。</p> <p>計画よりも現在、部・課が増加している中、新たな第三次定員適正化計画をどのように考えられているか、今後、人口減少や人手不足が深刻化、そして、財政健全化が喫緊の課題であることを踏まえて長期的な方針をお聞きします。</p> <p>また、行財政改革において、住民サービスなどに直結する事業の見直しは慎重に進めるべきだと考えています。</p> <p>市役所による直営ではなく協働によって進めている委託事業は、今後の事業展開を含めた議論をすべきだと思いますが、市長の見解をお尋ねします。</p> <p>(2) 官民連携のひとつの形としてSIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を検討すべきだと考えています。</p> <p>未だ実施していない事業を民間投資により実施、行政がその成果に対する対価を後から支払う投資のモデルです。</p> <p>事業実施後の社会的コスト削減分（納税・社会保険費支払い等※例えば、健康寿命の延伸により保険料が減少した分など）が償還の原資となります。</p> <p>長期的な公的サービスの生産性向上や、財政負担軽減が期待できるものですが、市長の見解をお尋ねします。</p>		
2. 福栄グラウンドの有効活用について	<p>1. 萩市の福栄グラウンドの今後の活用方針をお聞きいたします。</p> <p>現在、福栄グラウンドは、サッカーグラウンドと使われていないゲートボール場および関連施設などがあります。今後、どう活用するかについてですが、現在、少子化に左右されることなく子どもたちがスポーツに取り組める環境づくりが求められるのと同時に、スポーツによる交流人口などが注目されています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>活用の具体例として、市内では少ない芝生化されたサッカーグラウンドを求める声をお聞きします。</p> <p>萩市の施設の有効活用および人口減少が進む中でスポーツによる交流人口増加に向けた取り組みとして検討すべきだと思いますが、市長の見解をお尋ねします。</p>
<p>3. 人生100年時代を迎える中で健康寿命の延伸に向けた取り組みについて</p>	<p>1. 人生100年時代を迎えた日本、そして、萩市では人口の多くを占める高齢者の方々が元気に活躍いただくことが今後、社会にとって必要だと考えております。</p> <p>健康寿命の延伸に向けては、さまざまな施策がおこなわれていますが、生きがいやコミュニティ活動についてお聞きします。</p> <p>単身での高齢者が増えている現状、そして、近隣のひとが日頃から交流を図ることを目的としてさまざまな施策がおこなわれています。</p> <p>首都圏の東京渋谷区やフランスやアメリカなどでも各地で生きがいやコミュニティづくりが実施されています。</p> <p>国においても、東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり（日本版 CCRC 構想）も検討されています。</p> <p>萩市でも上記を踏まえて、社会福祉協議会や地域主体などに対しても活動がさらに活発化、参画しやすいよう告知への協力などに力を入れるべきだと考えていますが、市長の見解をお尋ねします。</p>

質問順位	6	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路周辺の樹木などの整備の現状について	<p>1. 昨年9月定例の一般質問において、道路周辺の樹木の伐採除去について質問をしたところですが、現地の要望があれば対応をしていくとの回答でありましたが、その後、要望があったのか、現状をお聞きします。もし具体的な要望箇所が無いのであれば、執行側の判断で箇所を選定して、順次実行して行くことが考えられないかお聞きします。</p>		
2. 田床山いこいの広場の今後のあり方について	<p>1. 昨年9月の定例会において、小林議員よりの一般質問『利活用を促進させるための指定管理者制度における公共施設の管理、運営について』の質問の中で、田床山いこいの広場の今後の利活用について、執行部の考えを訊いていますが、その時の回答は今後、田床山いこいの広場のあり方について、検討してまいりたいと考えているとの事でしたが、その後、検討がなされているのかお聞きします。</p> <p>また、本年4月に発足した萩市行財政改革推進本部の中で今後検討されるというのであれば、市民の森、との案内看板もある場所でもあり、眺望豊かな場所でもあります。有意義な活用方法を議論していただけないものかとお聞きします。</p>		

質問順位	7	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 公共交通の現状と課題について	1. 萩市全域の公共交通の現状と課題及び基本方針（案）について 2. 買い物弱者対策について		
2. 自然災害に対する防災の取り組みについて	1. 河川洪水ハザードマップの改定版について 2. ため池調査について		

質問順位	8	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩ケーブルテレビへの出資金はどうなるか	<p>1. これまでの出資金はどうなるのか。</p> <p>2. 新会社への出資はどうするのか。</p>		
2. 夢プランについて	<p>1. 田万川地区の夢プランの実施について</p> <p>2. 先に商工会を中心としたイベントが自主的に道の駅で実施され、今後も継続されようとしているが、夢プランとの整合性はどうか。</p>		
3. 公共施設の水洗化は	<p>1. 公共施設の水洗化が進む中、下小川ふれあいセンターはトイレが和式のままである。避難所に指定されていて、また、老人クラブの使用頻度が高く、和式での使用が困難となって来ている。洋式便座も用意したものの、部屋が狭く使用に困難を強いられている。水洗化（ウォシュレット）に強い要望が出ているがどう対応されますか。水洗化に伴う維持管理費は地元で対応をする。</p>		

質問順位	9	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市営住宅について	1. 修繕や改善について、現在までの状況と今後の計画は。 2. 住宅等の用途を廃止した後の活用方法は。		

質問順位	10	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 自転車保険加入の促進を求める取り組みについて	1. 自転車事故対策とその周知の取り組みについて 2. 安全教育の取り組みについて 3. 市民の自転車保険加入状況とその周知について 4. 自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定した自治体は広がりを見せているがどのような認識か。 5. 自治体の自転車保険加入の促進の取り組みについて		
2. 天然記念物「見島牛」保存の取り組みについて	1. 市の取り組みの現状について 2. 牛舎の附属設備の補強について 3. 後継者育成について		

質問順位	11	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防衛省の秋田市での「各種調査の結果と検討結果について」に、重大な誤りがあったことについて、市長の見解を求める。</li> <li>2. 市の検証はどのように行うか。</li> <li>3. 検証期間はどの程度になるか。</li> <li>4. 防衛省は「地元の理解が大前提だ」というが、地元理解をどのように考えているか。住民の意思確認はどのようにして行うか。</li> <li>5. 超強力レーダーの影響、仰角5度以上、地下水への影響、迎撃ミサイルの一部落下、緩衝地帯、標的になる危険、水源の確保、動植物生態調査、などについての見解を求める。</li> <li>6. 萩市にとって必要な施設か再確認する。</li> </ol>		
2. 防災について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豪雨災害の5段階警戒レベルと避難について周知徹底をどのように進めるか。</li> <li>2. 消防団は操法で火事への訓練は行っているが、水防、土砂災害や地震などのときに必要な訓練は日常的にどのように行っているか。</li> <li>3. 消防団員のヘルメットなどの装備の点検と更新について</li> <li>4. 防犯カメラの貸与について</li> <li>5. 国土強靱化法による3か年計画と萩市の事業計画について</li> </ol>		
3. 公共交通政策について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域公共交通網形成計画の策定のため開かれた意見交換会で出された意見をどのように集約しているか。</li> <li>2. どういう方向性をもって計画を策定しようとしているか。</li> <li>3. 高校生の通学費助成は、市内高校通学に限られているが、公共交通政策として、高校生の遠距離通学を助成対象にする必要があるのではないか。</li> <li>4. 高齢者の交通費助成を考えているか。</li> </ol>		



質問順位	12	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 国民健康保険料の見直しを	<p>1. 一般会計法定外繰入は、法的に禁止されているわけではないが、今後、なくしていく方向で考えているのか。</p> <p>2. 国保の基金残高は医療給付費の5%程度と言われているが、最低限、どれだけ必要と考えているか。</p> <p>3. 資産割をなくすために、平等・均等・所得割に配分し、最終的に均等割が大幅に増える計画にしたのはなぜか。</p> <p>4. 子どもが増えるほど負担が増える均等割の減免は必要ではないか。</p> <p>5. 国保料引き下げのため、県や国に公費負担の引き上げを求めているか。</p> <p>6. 国保料が払えなくなった場合、どうすればいいか、市民へ周知しているか。</p>		
2. 児童虐待防止への取り組みは	<p>1. 虐待が疑われる場合、どこに知らせればよいか。市に窓口があるか。</p> <p>2. 「子ども家庭総合支援拠点」は設置されているか。</p> <p>3. 「支援拠点」には子どもの家庭支援員が2名配置されているか。また、虐待にも対応できる専門性を高める研修など行われているか。</p> <p>4. 保育所・幼稚園・学校等に在籍していない子どもや居住実態が把握できない児童にも留意して把握に努めているか。</p> <p>5. 児童相談所や警察、その他の関連機関との連携はとれているか。また、模擬訓練など行っているか。</p>		
3. イージス・アショアの配備撤回を	<p>1. 防衛省の適地であるという通告をどう受けとめたか。</p> <p>2. 秋田の誤データや居眠りに、住民の不信や怒りの声が相次いでいるが、萩の調査データを信用するか。</p> <p>3. むつみへの配備は、水不足が明らかだがどうか。</p> <p>4. テロや工作人員のため、警備体制を強化すると言っているが、テロなどの危険性がある配備をどう考えるか。</p> <p>5. 防衛省が言うように、むつみが配備に適地だと思うか。結論を出すまで、何か取り組むのか。</p>		